被爆地ヒロシマが被曝を拒否する
－過去は変えられないが未来は変えられる－

伊方原発運転差止広島裁判

2023 9/11 月 本訴

第３８回口頭弁論期日

原告側（市民側）証人尋問 10:30 開始 16:10 頃迄

証人　早坂 康隆 氏　テーマ「地震動」

地質学者、広島大学大学院 先進理工系科学研究科 研究員（理学博士）

「地質学的にみて 伊方原発は立地不適地」

2023年9月11日予定

09:55	広島地裁　南西角交差点集合
10:00	広島地裁へ乗込行進　一緒に歩きましょう
10:20	までに入廷　※傍聴抽選はありません
10:30	第３８回口頭弁論開始 原告側主尋問
12:00	昼休憩 （広島弁護士会館 2F 大会議室　開場）
12:45	参加者ミニ交流会
14:00	第３８回口頭弁論再開 被告側反対尋問
15:30	休憩
15:40	再尋問
16:10	第３８回口頭弁論終了予定
16:30	記者会見・報告会開始　ZOOM併用 ※16:00 頃から開始の可能性もあります
17:30	記者会見・報告会終了予定

16 時接続開始
ID: 863 8269 4679
パスコード：109362

証人尋問前のZOOM勉強会
「ここが見どころ聞きどころ」

9/8 金　午後８時 開始

早坂氏の意見書からポイントを簡潔解説。座談会形式です。

19 時４５分 接続開始
ID: 830 9795 6597
パスコード：503534

ZOOMによる期日報告会・勉強会はどなたでも参加できます。要綱など詳しくは当裁判 web サイトをご覧ください。

ご寄付・ご支援をお願いします

ゆうちょ銀行振込口座の御案内

口座名◆ 伊方原発広島裁判事務局
口座記号番号◆ ０１３６０－８－１０４４６５
他行からの振込◆ 店名（店番）：一三九（１３９）
預金種目：当座
口座番号：０１０４４６５
（ゆうちょダイレクトのご利用をお奨めします）

ぜひ法廷へ傍聴にお越しください。

【連絡先】伊方原発広島裁判事務局 090-7372-4608 【所在地】〒731-0232 広島市安佐北区亀山南 2-26-11（広島市西区中広町から移転しました）
E-mail：saiban_office@hiroshima-net.org　URL：https://saiban.hiroshima-net.org

私たちの活動はみなさまの御寄付で支えられております。
この場をかりて厚く御礼申し上げます

聞けば納得、証人尋問

広島市域から最も近い原発、四国電力伊方原発の運転差止を求めて伊方原発広島裁判原告団が広島地裁に提訴したのが２０１６年３月１１日。裁判は最終段階を迎えており、今春から証人尋問に入りました。

これまでの書面によるやりとりとは違って、証人尋問では生身の人間が法廷で証言をするという形を採りますので、内容はわかりやすく、また生々しく、裁判全体のハイライトを迎えている、ということができます。（証人尋問予定表は下記表参照のこと）

私たち原告側は６人の専門家証人をズラリと並べ、同時に６人の原告や証人を立てました。注目すべきはこの６人のうち、４人までが福島原発事故避難者だという点です。まことに原発差止裁判では、福島原発事故の悲惨な実態をしっかり押さえることがその原点なのです。

第１回の証人尋問は２０２３年４月１９日、原告側の哲野イサク氏が証人で、原発過酷事故時、放射能を外部放出した際の住民避難計画について、行政機関が作成する避難計画の実効性を審査する法的仕組みがなく、規制基準に重大な欠陥があることを証言しました。第２回は５月３１日、被告側の松崎伸一氏が伊方原発の耐震基準である基準地震動６５０ガル（ガルは加速度の単位。地震の揺れを示す科学的指標）の策定がいかに合理的であるかについて証言しました。第３回が６月５日、原告側の後藤政志氏は、四国電力の過酷事故対策は全て上手くいくことを前提にしており、絵に描いた餅である、と厳しく批判しました。第４回が７月５日、原告側の巽好幸氏は約９万年前に巨大噴火した阿蘇カルデラについて、四国電力側の噴火は差し迫っていない、という主張を火山学はそこまで予測できるほどのレベルではない、と批判しました。第５回が７月１９日、被告側の中川俊一氏が安全対策について証言。第６回が７月３１日、強震動研究のトップランナーの一人であり、原子力業界と利益相反の全く無い野津厚氏が証言しました。野津氏は、強震動研究は現実に起こった地震動を説明するレベルにやっと到達したが、将来発生する最大の地震動を予測する科学的レベルには達していないこと、強震動研究の手法を使えば、黒を白と言いくるめることもでき、この点で四国電力は強震動研究を悪用している、と証言しました。

私たちがこれまで証人尋問を傍聴した限り、原告側の専門家証人がこれまでの研究の成果を説得力をもって語っているのに対し、被告側の証人は、素人にはわからぬだろう、裁判官を煙に巻いてしまおうと、専門知識を振り回しているようにしか見えません。科学的真理と道理は私たち原告の側にあります。証人尋問はまだまだ続きます。ぜひ一度傍聴にお越しください。

伊方原発広島裁判事務局

伊方原発広島裁判 証人尋問予定表

（2023 年 8 月 19 日現在）

年月日	証人			テーマ
済 2023 年 4月19日	原告側	哲野イサク氏	原告、広島在住、web ジャーナリスト	避難計画
済 5月31日	被告側	松崎　伸一氏	（株）四国電力執行役員　土木建築部長	地震動
済 6月 5日	原告側	後藤　政志氏	元東芝・原発プラント設計者	過酷事故対策
済 7月 5日	原告側	巽　好幸氏	火山の専門家。神戸大学名誉教授・同大学海洋底探査センター客員教授	火山
済 7月19日	被告側	中川　俊一氏	（株）四国電力原子力本部・伊方発電所品質保証部長	安全対策
済 7月31日	原告側	野津　厚氏	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地震防災研究領域長	強震動予測
9月11日	原告側	早坂　康隆氏	地質学者。広島大学大学院先進理工系科学研究科　研究員（理学博士）	地震動
10月 4日	原告側	鴨下　美和氏	神奈川在住、福島原発事故避難者	原告本人供述
10月 4日	原告側	久保山康代氏	愛媛在住、福島原発事故避難者	原告本人供述
証人尋問期日追加 10月11日	原告側	野津　厚氏	（被告側による反対尋問期日）	強震動予測
11月 1日	原告側	高島　武雄氏	熱工学の専門家。元小山高専教授	水蒸気爆発
11月29日	被告側	金折　裕司氏	山口大学，理工学研究科，教授	活断層
12月18日	原告側	伊藤　正雄氏	広島在住、広島原爆被爆者	原告本人供述
12月18日	原告側	渡部　美和氏	広島在住、福島原発事故避難者	避難者証言
2024 年 1月22日	原告側	森本　道人氏	広島在住、会社員	原告本人供述
1月22日	原告側	福島　敦子氏	京都在住、福島原発事故避難者	原告本人供述